Bookstore's Voice

京都大学生協　ショップルネ

法律書 Ranking

2016.9.1～9.30

第1位

『基本刑法Ⅱ　各論』
大塚裕史ほか
（日本評論社　本体¥3900）

第2位

『基本行政法〔第2版〕』
中原茂樹
（日本評論社　本体¥3400）

第3位

『民事訴訟法概論』
高橋宏志
（有斐閣　本体¥3400）

幅広い需要が垣間見えるランキング。

3位	『事例研究　行政法〔第2版〕』 曾和俊文＝金子正史編著（日本評論社　本体¥3700）
3位	『基礎演習　行政法』 土田伸也（日本評論社　本体¥2300）
6位	『事例演習刑事訴訟法〔第2版〕〔法学教室ライブラリィ〕』 古江頼隆（有斐閣　本体¥3200）
6位	『裁判と法律学――「最高裁回想録」補遺』 藤田宙靖（有斐閣　本体¥3300）
6位	『民事訴訟・執行法の世界』 中野貞一郎（信山社出版　本体¥8000）
6位	『イェーリングの「転向」』 大塚　滋（成文堂　本体¥4500）
6位	『数理法務のすすめ』 草野耕一（有斐閣　本体¥3800）

角谷昌紀
書籍担当

・今月のランキング

９月は大学が休講で，月末から後期教科書が売れ始めます。

ランキングは指定教科書を除きますので，学生さん向けの概説書・演習書と研究者向けの専門書がバランス良く入っていますが，実は上位と下位の冊数差はほとんどありません。

概説書・演習書は各生協でほぼ共通だと思われますのでコメントは割愛しますが，『裁判と法律学』は藤田先生の前作『最高裁回想録』の補遺，『民事訴訟・執行法の世界』は中野先生の論文集，いずれも大家の著書です。

『イェーリングの「転向」』は基礎法学の研究書，『数理法務のすすめ』は一見経済学書かと見紛うほどの数式が出てきます。

あらゆる法学専攻者の需要に対応できる店であるべく微力を尽くしたいと思います。

・店員から

法科大学院設立直後の大幅な法律書売上増加が記憶にある者としては，その頃に比べたら売上冊数の激減感が致します。

具体的な書目を挙げて恐縮ですが，『判例六法 Professional』（有斐閣）が最初に刊行された年は100冊以上売れましたが，2010年頃に半減し，今や10数冊という状況です。

しかし法科大学院がない時代よりは売上げは増えているはずですから，最盛期の事は忘れて，現状でお客様のお役に立てればと存じます。

次号の Bookstore's Voice は
名古屋大学生協　南部書籍